

船室について

- 全室シャワー・トイレ・冷蔵庫完備です。
- 船室は、上段ベッド付きとなる場合がございます。指定はお受けできません。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのお一人様利用は、ご旅行代金の200%となります。D1、D2は180%です。
- A1、A2、A3、A4、B、D1クラスは、洗浄機能付きトイレを完備しています。
- C1、G、I、Mクラスの1室申し込みでは、洗浄機能付きトイレのオプション申込が可能です(有料)。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのフアは、ソファベッドとしてもご利用いただけます。
- A1、A2、A3、A4クラスの船室指定が可能です(船室指定後に旅行契約を締結なさる場合、船室指定取消料として旅行代金の5%を申し受けます。ただし、90日以前以降は旅行条件記載の取消料に準じます)。
- お得な年齢割引もご利用ください(大人1名につき未就学児1名無料(詳しくは弊社までお問い合わせください))
- 相部屋申し込みのお客様はシャワー、トイレ、ロッカー、その他の設備は同室者と共に用です。
- セミシングルタイプ、フレンドリータイプは、船室内をカーテンで区切り、プライベート空間を提供するコンパトメントタイプです。
- 旅行開始時13歳未満(中学生を除く)のお子様連れでの相部屋申し込みはお受けできません。
- フレンドリータイプの船室は、2段ベッドの下段指定が可能です(有料)、ベッド下のスペースは同室者と共に用です。

ビザ(査証)取得について

- クルーズに必要なビザ(査証)は、弊社にて取得手続きの代行をいたします。
- 参加いただくオプショナルツアーによっては、ビザ取得のための追加代金や追加書類をご提出いただく場合があります。
- 本パンフレット記載のビザ取得代金は日本国籍の方の代金です。日本国籍以外の方もお気軽にお問い合わせください。
- 米国入国には、ESTA認証(米国電子渡航認証システム)の事前取得が義務づけられています。(有料:21米ドル)
- シェンゲン協定により、ご出発前のシェンゲン加盟国への旅行日数によって、当クルーズにご参加いただけない場合がございます。
- 2025年より欧州渡航情報認証制度(ETIAS)の導入が予定されています。

海外旅行保険への加入が必須です

ご旅行中に疾病や事故などの事態に遭遇し、思いもよらない高額な治療費用や救護者費用などが発生した場合、法律上これらの費用は全てお客様個人の負担となります。このような事態に備えるため、旅行期間のすべてがカバーされた海外旅行保険へ必ずご加入ください。海外旅行旅行加入されない場合、本旅行への参加をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

旅行変更費用補償特約の同時加入をおすすめします

クルーズの取消料はご出発の90日前から発生しますので、ご自身はもとより、ご家族・ご親戚の病気・事故などでご旅行をキャンセルしなければならない場合に備えて「旅行変更費用補償特約」に加入することをおすすめします。

海外安全情報

外務省の治安に関する海外安全情報より下記の通り危険情報が発出しておりますが、現地手配会社、関係旅行、船舶代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確認した上で本旅行を行います。

「レベル1」：十分注意してください
香港、コロンボ、サファガ、ポートサイド、クリスタバル、カヤオ

尚、現地の治安および感染症など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。

旅行代金一覧(単位:円)

船室クラス	バルコニー/窓	フロア	ベア (2人部屋)	相部屋可	シングル (1人部屋)	セミシングル (2人相部屋)	フレンドリー (3〜4人相部屋)
オーナーズスイート	バルコニー付	9-10	A1 8,660,000	—	—	—	—
ベントハウススイート		8	A2 8,160,000	—	—	—	—
プレミアムスイート		9-10	A3 7,660,000	—	—	—	—
スイート		8	A4 7,160,000	—	—	—	—
ジュニアスイート		10	B 6,580,000	—	—	—	—
バルコニーⅡ	窓あり	10-12	C1 4,580,000	○	I 8,244,000	—	—
バルコニーⅡ		9	C2 4,480,000	○	J 8,064,000	—	—
アウトサイドワイド		9-11	D1 3,980,000	○	—	—	—
アウトサイドビュー		8	D2 3,880,000	○	—	—	—
アウトサイドI		8	E 3,580,000	○	K 4,444,000	E2 3,680,000	—
アウトサイドⅡ	窓なし	5-6	F 3,380,000	○	L 6,084,000	F2 3,480,000	F4 4名 2,380,000
スタンダードインサイドI		8-11	G 2,680,000	○	M 4,824,000	G2 2,780,000	G3 3名 2,280,000
スタンダードインサイドⅡ		5-6	H 2,280,000	○	N 4,104,000	H2 2,380,000	H4 4名 1,980,000

旅行条件(要旨) ー詳しい旅行条件書をお渡しいたしますので、内容をご確認のうえお申し込みくださいー

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

1. 募集型企画旅行契約

本旅行はNGOピースボートがコーディネートし、株式会社ジャパングレイス(以下「当社」といいます)が企画・実施する旅行です。本旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます)を締結することとなります。

2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として旅行代金の5%にあたる金額(別紙参照)を添えてお申し込みください。当社が申込金の受領確認が出来た時点で正式にお申し込みとなります。

3. 旅行代金に含まれるもの

①旅行日程に明記した船舶の運賃 ②船内宿泊 ③請求書に記載された船室クラス、船内イベント(一部有料あり)の代金 ④明示した食事回数の料金 ⑤船舶による手荷物運搬料金 ⑥乗員の同行費

⑦旅行代金に含まれないもの(上記3項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を以下に列挙いたします。)
①オプションツアーの代金 ②船室クラス変更による追加代金 ③渡航手続費用(ビザ代・渡航手続代行手数料・予防接種料金等) ④船内のチップ ⑤ポートチャージ(港湾施設使用料金等) ⑥国際観光旅客税 ⑦海外旅行保険料、電話代、飲み物代などの個人的費用 ⑧超過手荷物料金 ⑨ご自宅から発着地までの交通費・宿泊費・手荷物運搬費 ⑩船舶のフェニール(原油) サーチャージ

5. 旅行代金のお支払い

①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日目に当たる日以降の当社の定める日までで申込金を除いた旅行代金及び諸費用等をお支払いください。②お申込金は使用客船の貸切代金の一部に使用いたします。

6. 特別補償

当社はお客様が企画旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金および見舞金を支払います。

7. 取消料

お客様は次定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

取消日	取消料
91日前まで	無料
90日前以降61日前まで	旅行代金の5%
60日前以降31日前まで	旅行代金の10%
30日前以降21日前まで	旅行代金の20%
20日前以降3日前まで	旅行代金の30%
2日前(前々日)以降旅行開始日まで	旅行代金の50%
旅行開始後または無連絡不参加	旅行代金の100%

本旅行の使用客船は貸切船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係る旅行代金の払い戻しはありません。

8. その他

①クルーズにご参加の場合は、海外旅行保険にご加入されることを必須といたします。②旅行条件に定めのない事項は当社旅行業約款「募集型企画旅行契約の部」によります。なお、当社約款は当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

このパンフレット記載内容は2025年5月2日を基準としています。

別添諸費用 ※2025年5月2日現在の金額です

チップ合計	181,440
ポートチャージ合計	73,920
ビザ取得代金合計	37,500
国際観光旅客税	1,000

- 最少催行人員:1,000名
- 船中泊
- 日本人添乗員が同行します
- 食事:朝106回、昼106回、夕106回
- 医師、看護師が乗船します
- 使用客船:パシフィック・ワールド号(総トン数:77,441トン/全長:261.3メートル/全幅:32.25メートル/喫水:8.1メートル/乗客定員:2,419名/運航会社:シーホークコーポレーションリミテッドインク)

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス(観光庁長官登録旅行業第617号)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13
www.japangrace.com



一般社団法人日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

振込口座 口座名義はいずれも (株)ジャパングレイス	三菱UFJ銀行 高田馬場支店 普通 1211859	三井住友銀行 高田馬場支店 普通 9103064	みずほ銀行 高田馬場支店 普通 1991082
----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

Coordinated by

ピースボート 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1B1

TEL:03-3363-7561 / FAX:03-3363-7562 www.peaceboat.org
●PHOTO: PEACEBOAT、朝浦順志、片岡和志、中脇浩太、中村友介、松田英貴、永本俊也、桃井和馬、志木志保、Christina Felschen、Stacy Hughes、Vedran Vrhovac/Flickr、Adobe Stock、shutterstock.com、Unsplash、ソーワルグッド株式会社



【プライバシーポリシー】
株式会社ジャパングレイスでは、お客様からご提供いただく個人情報の取り扱いについて、ウェブサイトにてご案内しております。
https://www.gbcruises.jp/privacy/

営業所のご案内

※各店ではご予約を
お断りします

(株)ジャパングレイス本社営業所

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13 3F
FAX:03-3287-3083 (4時〜18時)

(株)ジャパングレイス大阪営業所

〒530-0003 大阪市北区堂島1-27 阪神千代田ビル8F
FAX:06-4482-3101 (4時〜18時)

※各店ではご予約を
お断りします

※各店ではご予約を
お断りします

地中海・中南米・南太平洋コース

2026年8月 Voyage124

横浜発着108日間 2026.8.21(木)〜12.6(日)

神戸発着108日間 2026.8.22(金)〜12.7(月)



神秘と奇跡 すてきな地球の物語

Discover The Wonder



パシフィック・ワールド号でゆく



ピースボート地球一周の船旅

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス



地球誕生46億年、 人類誕生20万年の進化と その時間の物語に出会いに

幼いころ読みふけた、世界の不思議を集めた図鑑。そこには見たこともない巨大な建物や誰が造ったかもわからない石像、私が知らない不思議な光景が広がっていて、いつもワクワクしていた——想像の翼は広がるばかり、いつしが憧れの地は増え続け、世界地図にピンを刺すように心の中でブックマークをつけた記憶がよみがえります。

「私たち人間が生涯目にするこの地球の表面は、ごく限られた部分に過ぎない」
どこかでそんな言葉を聞いたとき真っ先に感じたのは、あの頃心ときめかせた不思議に出会いたいという想いでした。

今も私の心で輝きを放つ、夢の光景をこの目で見たい。

憧れの地を踏んだ私は、なにを感じるんだろう。

不思議に満ちたこの素晴らしい地球を舞台に、温め続けた想いを叶える旅がいま、はじまります。

PEACEBOAT CRUISE 2026.8 Voyage124

P4-12

FEATURES

DISCOVER THE WONDER

- エジプト | 古代の神秘 巨石文明が紡ぐ物語
- イースター島 | 人はどこから来て、どこへ行くのか
- ベルー | 語られなかった 歴史の物語
- アイスランド | 宇宙からの便り 地球の呼吸を感じて
- ボルトガル | 古の航路に思いを馳せて

P13-17

THE ADRIATIC SEA CRUISE

- 幾多の歴史が交差する、美しきアドリア海案内

P18-19

DESTINATIONS & PORTS

- 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧



DISCOVER THE WONDER
エジプト

古代の神秘 巨石文明が紡ぐ物語

土埃で霞む街へと降り立つと、雑踏から発せられる喧騒と、呪文のようなアラビア文字が「ここがエジプトだよ」と教えてくれる。ついにあの憧れのピラミッドが建つ地にたどり着いた感動に、はやる気持ちを抑えるのは難しく、すべてが魅力的で刺激的。絵巻物を読み解くように、遥か5,000年の時を超えたエジプトの神秘が目の前に広がってゆきます。



①ルクソール神殿 ②ツタンカーメンの黄金の棺
③美しいレリーフが残るカルナック神殿 ④大迫力のギザの三大ピラミッド ⑤幻想的な雰囲気を感じ出すムハンマド・アリー・モスク

美しいアラブ・イスラム文化



①古代エジプト発祥・世界最古の舞踊芸術といわれるベリーダンス ②エジプト料理は圧倒的な歴史を誇り、独特の文化を持つ ③定番料理「ファムサ」。エジプト料理には豆が欠かせない ④繊細なデザインが人気の香水瓶 ⑤ビンに詰められた砂で絵を描く「サンドボトル」はお土産にも人気 ⑥さまざまな商品が並び、活気あふれるバザール(市場) ⑦古代エジプト絵画は、約2,500年もの間ほぼ同じスタイルで描かれ続けた



DISCOVER THE WONDER
イースター島

人はどこから来て、どこへ行くのか



沖合でテンダーボートに乗り換え、どこまでも深い青に染まる海を渡る——すると画面の向こうで何度も目にした、あの特徴的な石像のシルエットがだんだんと大きくなってきました。島の名前はイースター島。周囲2,000kmに人の住む場所はなく、外界から隔絶されたこの島のシンボルがモアイ像です。

整列するもの、横たわるもの、半身が埋まったもの。実に900体ものモアイ像が島内に点在していますが、造られた理由や巨大な石の塊をどう運搬したかなど、真実は不明のまま。遥か彼方を見つめるモアイ像に「なぜあなたはここにいるの?」と問いかける——私と彼らだけの特別な時が流れます。

海がつなぐ歴史と文化

ハワイ、イースター島、ニュージーランドを結んだエリアは、“ポリネシアン・トライアングル”と呼ばれます。この広大な海域の内側に位置する島々は、互いかなりの距離があるにもかかわらずさまざまな文化を共有しており、ひとつの広大な文化圏を形成しています。

“南洋の楽園”タヒチや“絶海の孤島”イースター島、雄大な自然を擁するハワイ諸島など、個性豊かな島々からなる太平洋のポリネシア地域。ポリネシアとは、ギリシャ語で「たくさんの島々」を意味しています。このエリアに暮らす人びとの祖先は、約3,000年前に東アジア地域から壮大な航海を経て渡ってきたと考えられています。ハワイ、イースター島、ニュージーランドを結ぶ巨大な三角形は、地理的には1辺約8,000キロメートルと非

常に広大ながら、その内側には、言語や芸術、伝統、宗教などを共有するひとつの文化圏を形成しています。

タヒチ/イースター島間のクルージングに必要な日数は、現代の船でおよそ7日間。それを思うと、ポリネシアの人びとの旅路の壮さに驚かされます。広大な海域をひとつの文化圏として捉えることができるのは、地球をめぐる船旅だからこそその経験です。ビースポートクルーズに古くから寄港地ゲストで乗船しているタヒチの伝統農家ガブリエル・ティアラヒさん(通称:ガビさん)とイースター島の文化や伝統を教えてくれるマリオ・トゥッキさん。4,000キロ以上離れたイースター島とタヒチに暮らすふたりが、それぞれの言葉で話しても伝わり合っている様子は、海が文化をつないでいることを確かに感じる瞬間です。



① 島人伝説が伝わるオロンゴ岬 ② パフォーマンスやワークショップなども駆使して、現代に生きる島の伝統を伝えている ③ ④ 文化の類似性を感じられる各島に伝わる伝統料理。イースター島では「ウム」、タヒチでは「アヒマア」④と呼ぶ ⑤ セビーチェ。ポリネシア各地に南米料理も伝わっている ⑥ 現地の人との出会いも楽しい ⑦ お土産もモアイ

ビースポートクルーズでは、イースター島上陸の際はオプションツアーへの参加が必須のため、記事掲載内容のすべてを見学できない場合があります。



DISCOVER THE WONDER ペルー

語られなかった 歴史の物語

CIVILIZATION

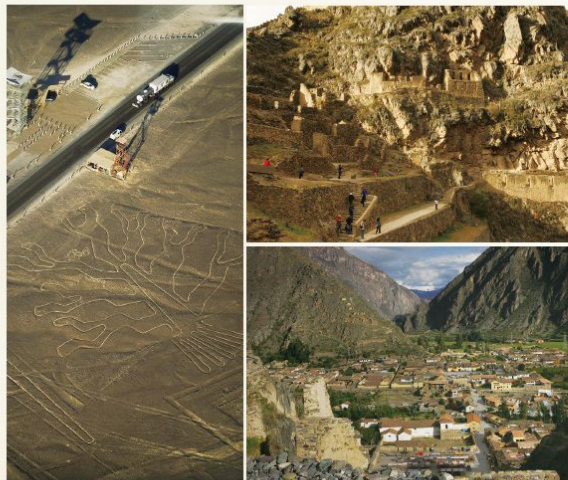
書き換えられる世界史

長い間、人類の歴史としては「旧大陸」で文明が起こった後に、アメリカ大陸の文明が始まった、と考えられていました。アンデス文明の起源についても同様で、これまでには紀元前1,000年頃に発達した「チャビン文明」であるといわれていました。しかし近年、ペルーの首都リマから北に200キロメートルほどの地点から、紀元前約3,000年頃に築かれたピラミッド状の神殿跡や古代都市の痕跡が発見され、その定説は覆されつつあります。

科学技術が発達した現代においても、日々の発掘、研究、発見によって新たな歴史を刻み出す…現代においてもミステリアスだからこそ、アンデスの魅力は私たちを惹きつけて離さないのかもしれません。

※旧大陸：ヨーロッパ、アジアなど、コロンブスによるアメリカ大陸到達以前にヨーロッパの人びとに存在が知られていた地域

文字をもたない文明が、アンデスの山奥に遺した集落の跡地——世界複合遺産「マチュピチュ」は、今なおその全容を解明できず謎に包まれたまま。しかしながら、鉄製の道具を使わずに石を切り出したり自然の摂理を取り入れた集落跡は、非常に高度な文明がたしかに在ったことの証です。そんな神秘的な遺跡を目指し切り立った山道を登れば、標高2,400mの地に静かに佇むマチュピチュとついに対面です。高地ゆえうっすらと雲がかかる遺跡は、まさに隠された空中都市そのもの。全景を見下ろせば、アンデスの風が優しく頬を撫でてゆきます。歴史の扉は閉ざされたまま。“秘めたる史実”を語ることはないその姿が、旅人のロマンを誘います。



① 街には子どもたち・若者たちに演劇やサーカスといった自己表現の場をつくるNGOも活動している ②「アートは困難に向き合うパワーになる」が合言葉 ③④ 子どもたちの笑顔がまぶしい

PERUVIAN FOOD

世界に輝くペルーごはん

ペルーは、アンデス文明が生み出したジャガイモに代表される伝統食文化と、ヨーロッパ、アジア、アフリカの移住者が持ち込んだ食文化が融合し、独自の多様な食体系が構築された米州きっての美食大国でもあります。

- ① 地元のレストランではスタッフやお客さんとの会話も楽しい
② ③ 伝統料理から名産品を活かした創作料理まで、幅広いメニューが味わえる ④ ペルーで大人気のインカコーラ。さわやかでスッキリした口当たり





DISCOVER THE WONDER
アイスランド

宇宙からの便り 地球の呼吸を感じて



2023年10月にピースボートクルーズ船上から撮影

大西洋を北上する船に舞い降りた光のヴェール。待ち焦がれたオーロラがついに現れた瞬間です。古代ローマ神話の「曙の女神」から名づけられた幻想的な自然現象は、瞬く間に私たちの心をとらえ、瞬時に形を変えてゆきます。いつ出会えるかわからない気まぐれなオーロラだからこそ、真っ暗な海を自由に移動できる船は絶好の観測スポット。時折ホットワインで身体を温めながら、神秘的光を追求めます。さらにオーロラ観測の舞台の一つであるアイスランドには、想像を超えたダイナミックな光景が待ち受けます。巨大な間欠泉、轟音を響かせる滝、“地球の割れ目”である大陸間プレートの境界線。それらが発する地球の鼓動に、自らの鼓動が重なるとき——この星に生まれた歓びを感じます。

REYKJAVIK
世界最北の首都・レイキヤビク



① シングヴェトリル国立公園では、「ギャオ」と呼ばれる大地の裂け目を目の当たりにできる ② ストロックル（間欠泉） ③ 自然が生み出す鮮やかな色が美しい、ケリズ火口湖 ④ 美しく豪快なグルトフォスの滝



① ユニークな形が目を引くハットルグリムス教会 ② 光をキラキラと反射し輝くコンサートホール「ハルパ」 ③ 北欧らしい色合いや模様が街中で見られる ④ 「サン・ボイジャー（太陽の航海者）」と名付けられた海辺の彫刻は、バイキングの船がモデル



DISCOVER THE WONDER

ポルトガル

古の航路に 思いを馳せて

ポルトガルの国名の由来にもなっているポルトの街は、大航海時代を導き、ポルトガルの繁栄の礎を築いたエンリケ航海王子の海洋探検拠点でありました。この地から世界へと船を出し時代を切り拓いていった先人たち。大西洋の風を受けながら、彼らの成した旅に思いを馳せます。



FADO

ポルトで哀愁のファドにひたる

歴史的な建造物や石畳の街並みが広がり、古き良き港町の魅力要充分に楽しめるポルト。大西洋に流れ込むドウロ川沿いの風景は絵画のように美しく、ゆったりと流れる時間に身を任せながら、ポートワインを片手に楽しむひときは大いに旅情を誘います。そして、ヨーロッパの中でも太陽が最も遅く沈む国でもあり、太陽が雄大な海に沈んでいくロマンティックな黄昏を楽しめる国でもあるポルトガルには、ファドという民謡文化があります。



①②ポルトガルは、その土地ならではの伝統的な食文化や食材を大切に守っていることも知られる ③ディナータイムになると多くのレストランでファドの演奏が行われる ④ポルトガルの国民的なスイーツ「バステル・デ・ナタ」。エッグタルトの元祖ともいわれる ⑤ポルトの街で出会う伝統的な美しいタイル画「アズレージョ」



The Adriatic Sea Cruise

紺碧の海と中世の街並みが残るヨーロッパ有数のリゾート地、アドリア海。

海岸沿いには世界遺産にも登録される華麗で堅牢な街々が点在するこの地は、古代ローマ時代から中世、近現代に至るまで、数々の歴史ドラマの舞台であり、さまざまな文化が行き交うヨーロッパ地域への玄関口。

美しいアドリア海地域への案内人は、ピースボートクルーズにゲスト乗船をしている、クロアチア出身のアーティストのゴラナさんとドゥシュカさんです。



紺碧のアドリア海で
お待ちしております！



ファッションデザイナー・アートギャラリーオーナー
ゴラナ・グリセイージャ・ヴェシチ
Gorana GULIŠIJA VEŽIĆ

クロアチア出身。20年間にわたリスプリトの旧市街で芸術とファッションのギャラリー「アルテリア」を主宰している。このギャラリーでは自身の作品だけでなく、旧ユーゴスラビア出身の他のデザイナーの作品を紹介している。



アーティスト
ドゥシュカ・ボバン
Duška BOBAN

クロアチア出身。クロアチアのザグレブ大学芸術アカデミーで学位を取得後、スロベニアのリュブリャナ大学芸術デザインアカデミー大学院で学ぶ。クロアチア美術家協会 (HULU)、スプリト、およびKVART現代美術協会のメンバー。

幾多の歴史が交差する、美しいアドリア海案内

私たちがおすすめするアドリア海の魅力！ ドブロブニク編

DUBROVNIK

街のあちこちで歴史と文化の積み重ねにふれられる、クロアチア古都ドブロブニク散策へ



現地でもオススメ

素敵なお店を発見できたり、この街に暮らす人々の生活を垣間見ることが出来ますよ



世界遺産 THE WORLD HERITAGE

ドブロブニク旧市街

堅固な城壁が四方をぐるりと囲む旧市街へは、街の西側に位置するピレ門をくぐっていきます。期待に胸を躍らせ城壁内に入ると、景色は一変。足下は大理石の石畳、周囲は石を積み上げて築かれた建物や噴水、そして見上げれば街と青空を区切るオレンジ色の瓦屋根。中世そのままの世界が広がっています。

この街を楽しむには、まずは城壁めぐりがベスト。ピレ門の脇から階段を登り、城壁の上へ。歩を進める度に変化する美しい景色に、つい何度も立ち止まってしまいます。特に北側のミンチェタ要塞からの眺望が素晴らしく、アドリア海と旧市街を一度に見渡せます。

① 城壁は1周1,940メートル(2キロ弱)、市内のパノラマを楽しむ絶好のスポット ② ゴシック様式の美しいフランシスコ修道院 ③ 「地上で楽園を求める者は、ドブロブニクにきなさい」と劇作家・バーナード・ショー氏は称えた ④ シュタリ・グラド(旧市街)は歴史的な価値が高く、美しい景観が広がる



国際ジャーナリスト・千田善さんにきく

クロアチアの歴史:戦争から復興への道

クロアチアの歴史は複雑で、924年に王国が誕生し、その後ハンガリーやオーストリアに支配されました。1918年には「セルビア人クロアチア人スロベニア人王国」として独立し、第二次世界大戦ではドイツやイタリアに支配されました。ナチスの後押しを受けて民族主義が台頭。その中でチトー率いるバルチザン(抵抗運動)が、全民族の平等と協力による統合を訴え民意を獲得し、戦後にチトーを大統領とする「ユーゴスラビア連邦人民共和国」が成立しました。『7つの国境、6つの共和国、5つの民族(のちに6つとなる)、4つの言語、3つの宗教、2つの文字を持っている、1つに団結した連邦国家』という数え歌があるほど複雑なモザイクを描いた国家は、1980年のチトーの死をきっかけに崩壊の道を歩みます。1991年、スロベニア、クロアチアが旧ユーゴからの独立を宣言したのを皮切りに、あちこちで民族紛争が泥沼化。クロアチアでは、人口の2割近くを占めていたセルビア人居住地域の分離独立の動きで何度もの激しい

戦闘が繰り広げられました。特にユネスコの世界遺産にも登録されているドブロブニク旧市街は歴史的に重要な都市であったため、攻撃側にとっても象徴的な存在。大きな被害を受けました。

戦後、復興のプロセスは困難を伴いましたが、国際社会や関係者の支援を得て、市民の手で復元され、「アドリア海の真珠」と謳われた、中世建築の粋を集めた美しい街がよみがえります。綺麗なオレンジ色の屋根を見ると、濃い色のものと薄い色のものが混ざっているのがわかりますか？これは、かつての戦争で壊れ新しくしたものや壊れず当時のままのものが混ざっているからです。独立から四半世紀を越えたクロアチアは、クルーズでも人気の寄港地となり、主力産業である観光業は、年々業績を伸ばしています。そして少数民族が平等かつ公正に扱われ、彼らの文化的な遺産が尊重されることを目指しています。



千田 善 Zen Chida

10年近くユーゴスラビア生活を経験し、元日本サッカー代表監督イビチャ・オシム氏のもとで通訳を務めたことでも知られる。

伝統 TRADITION

養蚕の伝統が作り出すもの

ドブロブニクの旧市街では、民族衣装を着て、テーブルクロスやクッションに刺繍をしている女性に出逢うでしょう。大切に飼育された蚕から絹糸を取り、自然の色で染め上げ制作される、独自の刺繍です。何種類もの厳密に釣り合いのとれた幾何学的モチーフを用いて、主に赤、黒、深緑の糸を使い、金色がかった黄色の糸でふちどりされます。



ファッション FASHION



ネクタイ発祥の地

ネクタイはクロアチア人から始まったのを、ご存知でしたか？17世紀のクロアチア人が、伝統的な衣装とともに首に巻いていたネッカチーフが、その美しさと特徴的な結び方で、当時のヨーロッパの人々を引きつけました。



美しい銀線細工

金属加工の伝統が地域ごとのデザインとして発展しているクロアチア。ドブロブニクならではの、コナブレ地方に伝わる伝統的なイヤリング(ピアス) "Konavoske naušnice" (コナヴォスケ・ナウシュニツェ) があります。

戦争は伝統刺繍にも大きなダメージを与えました。でも、自分たちも戦争被害者でありながら立ち上がった女性たちによるNGO団体「DESA(デシャ)」が、消えていた伝統を復活させました。

DESA(デシャ)にきく!



※ピースポートクルーズでは、2018年にDESAを訪ねる交流プログラムを実施しました。

食文化 FOOD CULTURE

知る人ぞ知るワインの名産地

クロアチア全体でワイン生産が盛んであり、ドブロブニク周辺の地域もその一部です。特に、プリモリエ地方やベリェシャツ半島などでワインが生産されています。地中海の気候と土壌の恩恵を受けた、品質の高いブドウ品種から作られたプラヴァツ(Plavac)やマルヴァシア(Malvasija)などがよく知られています。高級ワインはもちろんですが、スーパーマーケットなどで手に入る、お手軽価格なワインもぜひチェックしてみてください。



オリーブ

クロアチアはオリーブ生産でも有名な国の一つです。オリーブの木が広く栽培され、特にイストリア半島やドブロブニクのあるダルマチア地方などの地域で高品質なオリーブ油が生産されています。



伝統のお菓子

アランツィニ (ARANCINI)

オレンジの爽やかな風味と甘さが特徴で、砂糖によってオレンジの皮がしっかりと甘く仕上がります。アドリア海地域の風土や食文化に根ざしたお菓子として、様々な形で楽しまれています。

私たちがおすすめするアドリア海の魅力！ コトル編

KOTOR

世界遺産の小さな港町コトルの旧市街



世界遺産 THE WORLD HERITAGE

コトルの自然と文化・歴史地区

アドリア海が陸地に入り込み、複雑な入り江となっているモンテネグロのコトル湾。一帯には、中世、港湾都市として栄えた町が点在しています。中でも、湾の最も奥に位置するコトルは、中世の薫りが色濃く残ります。世界遺産にも登録されている旧市街はもちろんのこと、フィヨルドの間をゆく入出港の壮大な景観も大きな見どころです。切り立った山々と深い緑、青い空、深い群青の海には雲が映り、一枚の絵画のよう。これはクルーズで訪れる方だからこそ出会える景色です。そして船が着いた先にあるのは、城壁に囲まれオレンジの屋根が続く旧市街——フィヨルドの景色と素晴らしい街並みは、忘れられない旅の思い出になるでしょう。またコトル湾沿いには、コトルから日帰りで行ける小さな町がたくさんあります。ペラストの町の近くの小島にある岩礁のマリア教会もおすすめです。

コトルは「猫の街」としても知られています。世界遺産の街で、のんびりと過ごす猫たちの姿に思わず頬がゆるみます。

かわいい猫と出会う



コトル城壁

ヴェネツィア共和国によって築城された約4.5kmのコトル城壁。コトルの旧市街地で中世の街並みを楽しむのはもちろん、裏山を登れば、標高約260mの城壁の頂上からコトルの絶景を見渡すことができます。



時計塔

旧市街の正門前の広場には、白い石が積み重なってできた時計塔があります。16世紀初頭に建てられた街のシンボルで、周囲はレストランや土産物屋などで賑わっています。

国際ジャーナリスト・千田善さんにきく

モンテネグロの歴史 百年間も日本と戦争していた?!

モンテネグロは日本と100年以上も戦争を続けている、という話があります。日露戦争当時、ロシアの同盟国だったモンテネグロが日本に宣戦布告。日本はロシアとは講和したが（ポーツマス条約）、モンテネグロとは戦争状態が続いている、というのです。2006年にモンテネグロが独立した際、戦争終結を宣言すると期待されましたが、実際には何もなし。日本政府は、そもそも宣戦布告が日本側に届いていないので戦争はなかったという見解です。仮に宣戦布告が有効だった場合でも、モンテネグロが属したユーゴスラビアと日本が国交を樹立した時点で、国際法上の戦争状態は解消しています。日本人をからかう有名なジョークですから、安心してください。

私たちがおすすめするアドリア海の魅力！ バリ編

BARI

南イタリアの旅情あふれる
美しき港町

観光スポット SIGHTSEEING

ここにしかない特別な景色 アルベルベッコ

バリから訪れたいのは、プーリア州に位置する人口1万人ほどの小さな村・アルベルベッコ。ここには、円錐形の屋根と白壁の家が特徴的な「トゥルリ」が建ち並び、世界でも類のないメルヘンチックな景観から、世界遺産にも登録されています。文化財指定地区のモンティ地区には土産物屋やレストランが軒を連ね、路地の散策にもおすすめです。

アドリア海を囲む国や地域の、似たところ、似てないところ。さまざまな歴史、文化、風習を楽しんでください！

いろんな出会いが



現在1000軒ものトゥルリがあります。先史時代から伝わる建築方法で造られた建物が現在も生活に使用されています。

三角屋根には不思議な紋様が描かれているものも。でも、何のために描かれたものなのかは未だに謎。一説によれば自分の家がどこにあるのかわかるような「表札的」役割とも「魔除け」とも言われています。

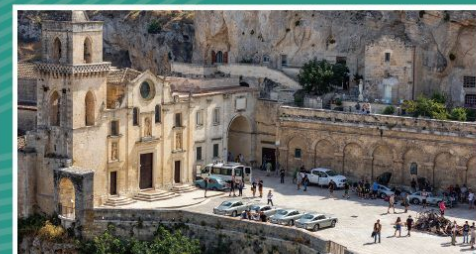
洞窟の町マテーラへ

11世紀に、イスラム教の迫害を受けたトルコ人僧侶たちが凝灰岩に穴を開けて教会や住居を築いた洞窟の街。巨大な岩塊をくり抜いた「サンタ・マリア・デ・イドリス教会」は迫力の美しさ。



バリ名物 オレキエッタ

耳たぶのような形をしたパスタで、スバゲッティのようなツルつとした食感ではなく、モチモチとした食感が特徴で食べ応えがあります。



「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧



中国 深圳
独自の文化を持つモダンな都市。中国全国各地のグルメチェーンが軒並み名を連ねる

ギリシャ サントリーニ島
白く美しい街並みとそれに映えるブルードーム。エーゲ海に浮かぶロマンティックな島

ベトナム ダナン
歴史的建造物が並ぶノスタルジックな古都ホアン。ベトナム屈指の観光地として人気

ギリシャ ビレウス
エーゲ海とイオニア海。ふたつの美しい海にはさまれた神話と文明のふるさと

シンガポール
ホーカー（屋台広場）から高級レストランまで豊富な選択が待つ充実の食文化

イタリア パーリ
歴史を感じさせる旧市街とモダンな新市街が共存する。南イタリアの美しい港町

ポルトガル ポルト
白壁とオレンジ屋根の家々が並ぶ旧市街。歴史地区は世界遺産に登録されている

パナマ クリスタバル
海上交易の要所パナマ運河。船旅だからこそ訪れることのできる、憧れの場所へ

ペルー カヤオ
謎多き古代アンデスの大地。神秘とミステリーに包まれた文明の数々を訪ねて

スリランカ コロンボ
インド洋らしい南国の雰囲気と植民地時代の名残りが入り混じる歴史豊かな交易都市

モンテネグロ コトル
「世界一美しい湾」と称されるコトル湾の、入り江に隠されたコトルの街はまさに秘境

5夜連日 オーロラチャンス
周囲を360度見渡すことができる真つ緑な海上の上は、オーロラ観測に最適

チリ イースター島
モアイ像や未解読文字ロンゴロンゴなど、謎に包まれた神秘的な文化を誇る絶海の孤島

エジプト サファガ
ナイル川を挟んで東岸と西岸につらなる。世界遺産「古代都市テーベとその墓地遺跡」

クロアチア ドプロブニク
アドリア海の美しい港に水揚げされる新鮮な魚介類。特産のワインと堪能したい逸品

アイスランド レイキャビク
コンパクトな街並みに、北欧らしい洗練されたアート、歴史や文化的スポットが多数！

タヒチ パペーテ
華やかなフランスの香りと、ポリネシアの伝統文化が混在する南太平洋の楽園

エジプト ポートサイド
活気に満ちたバザールと静謐な祈りの空間が共存する、アラブ・イスラム文化を堪能

スペイン バルセロナ
ガウディの没後100年の記念の年。特別な年のサグラダ・ファミリア大聖堂へ

米国 ニューヨーク
“オンリーワン”のエンタメシティ。本場ブロードウェイで鑑賞したいミュージカル

米国 ホノルル
ハワイ観光の玄関口。美しい自然と最新の流行を生み出すハワイ州最大の街

多様なニーズに合わせて
選べる船室の数々

プライベート空間でも海を身近に感じられる、海側に面した船室を豊富に備えたバシフィック・ワールド号。旅の目的に合わせて、自由にお選びいただける船室設定です。



ベアオーナーズスイート



ベアバルコニー I



セミシングルアウトサイド I



フレンドリースタンダードインサイド I・II



シングルスタンダードインサイド I・II

バシフィック・ワールド号でゆくピースポート地球一周の船旅
2026年8月 Voyage124

横浜発着108日間 2026.8.21(金) - 12.6(日) 神戸発着108日間 2026.8.22(土) - 12.7(月)

日程		寄港地	
8.21 金	出航 午後	横浜	
8.22 土	出航 午後	神戸	
8.26 水	入港 午後 出港 夜	深圳	中国
8.28 金	入港 午前	ダナン	ベトナム
8.29 土	出港 午後		
9.1 火	入港 朝 出港 深夜	シンガポール	
9.6 日	入港 朝 出港 深夜	コロンボ	スリランカ
9.16 水	入港 早朝	サファガ	エジプト
9.17 木	出港 朝		
スエズ運河通航			
9.18 金	入港 午後	ポートサイド	エジプト
9.19 土	出港 深夜		
9.21 月	錨泊 午前 発 夜	サントリーニ島	ギリシャ
9.22 火	入港 朝 出港 深夜	ビレウス	ギリシャ
9.24 木	入港 午前 出港 夜	パーリ	イタリア
9.25 金	入港 午前 出港 深夜	コトル	モンテネグロ
9.26 土	入港 朝 出港 夜	ドプロブニク	クロアチア
9.29 火	入港 午後	バルセロナ	スペイン
9.30 水	出港 夜		
10.3 土	入港 午後 出港 深夜	ポルト	ポルトガル
10.6 火	入港 午前 出港 深夜	ペルファスト	英国
10.8 木	1回目のオーロラチャンス		
10.9 金	2回目のオーロラチャンス		
10.10 土	3回目のオーロラチャンス		
10.11 日	入港 朝 出港 夜	レイキャビク	アイスランド
	4回目のオーロラチャンス		
10.12 月	5回目のオーロラチャンス		
10.18 日	入港 朝	ニューヨーク	米国
10.19 月	出港 深夜		
10.25 日	入港 午後	クリスタバル	パナマ
10.26 月	出港 早朝		
パナマ運河通航			
10.30 金	入港 午前	カヤオ	ペルー
10.31 土	停泊		
11.1 日	停泊		
11.2 月	出港 深夜		
11.8 日	錨泊 朝 発 夜	イースター島	チリ
11.17 火	入港 朝 出港 夜	パペーテ	タヒチ
11.24 火	入港 朝	ホノルル [オアフ島]	米国
11.25 水	出港 夜		
12.6 日	帰港 朝	横浜	
12.7 月	帰港 午後	神戸	

※訪問地や航路は、天候や海の状況による船長判断、その他の理由により変更する場合があります。

【ご確認事項】 ● 天候や現地事情の影響により、入出港日時の変更や抜港になる場合がございます。 ● 本船が沖合に停泊し、テンダー・ボートなどを使用して上陸する寄港地では、気象条件によっては上陸できない場合がございます。 ● この旅行は地球の遠隔地への航海であり、天災地変、政治状況の悪化、現地官憲の命令など、当社が関与し得ない事由が生じた場合、乗船客の安全を第一と考慮し、また航海の安全を考慮し、お客様に事前に、あるいは緊急の場合は変更後にお知らせし、旅行日程、旅行サービスの内容を変更する場合がございます。 ● 航海日程は船長や船会社の判断によっても変更される場合があります。 ● 上記のような不可抗力による変更の場合でも、払い戻しは一切ございませんので、予めご了承ください。 ● 本パンフレット記載の寄港地に関する案内文および写真の一部は、オーバークラウドツアー含むオプションツアー（有料）に参加された場合にお楽しみいただける内容を含んでおります。 ● オーバークラウドツアーは寄港地で一時下船して別の港で再会流するツアーです。

● 本パンフレットに掲載の写真は、お客様にピースポートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去に使用した別の客船で撮影された写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全て旅のイメージです。 ● 横浜港乗船の方は神戸港にて、また神戸港乗船の方は横浜港にて一時下船ができません。 ● ご自宅から集合・解散地等発着までの交通費は含まれません。 ● オーロラは自然現象のため、気象条件などにより観測いただけない場合がございます。 ● イースター島では原則自由行動はできません。後日発表のオプションツアーにご参加ください。